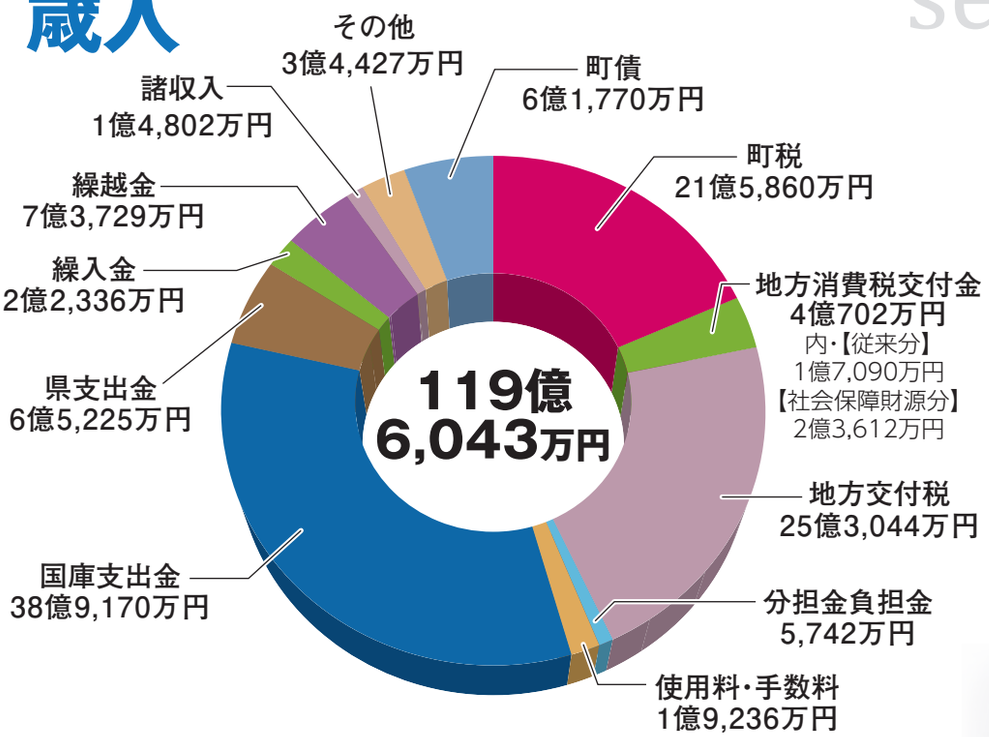
settlement

令和2年度 決算報告

今回、報告する一般会計の令和2年度の歳入総額は119億6,043万円、歳出総額は110億3,849万円で、翌年度に繰り越す財源を差し引いた実質収支額は7億8,539万円の黒字決算となりました。

歳入



町税のうち、都市計画税は都市計画事業の費用に充てるために課税する税で、入湯税とともに目的税と呼ばれます。三郷町では、都市計画税は下水道整備事業に、入湯税は観光振興事業に活用しています。

基　金

基金は法律や条例に基づいて設置し、財政に余裕がある時は積み立て、臨時の出費や財源不足が見込まれる場合に取り崩して事業費に充てます。

基金の現在高	令和元年度現在高	令和２年度末現在高
財政調整基金	12億　726万円	12億　862万円
減債基金	7,692万円	7,795万円
公共施設整備等基金	1億8,737万円	1億8,677万円
その他基金	7億4,720万円	7億4,017万円
合　計	22億1,875万円	22億1,351万円

町の財政状況

三郷町は財政再生基準（行政運営に国や県の関与や勧告を受ける基準）や早期健全化基準（財政状況が悪化しつつあり、早期に改善が必要な基準）のいずれの基準値にも該当する状況にいたっていません。

健全化判断項目	令和2年度比率	早期健全化基準	財政再生基準
①実質赤字比率	—	14.96%	20.0%
②連結実質赤字比率	—	19.96%	30.0%
③実質公債費比率	1.5%（3カ年平均）	25.0%	35.0%
④将来負担比率	49.4%	350.0%	—

町の会計は、大きく分けて一般会計と特別会計、そして企業会計に分類されます。一般会計は、町の仕事の中心部分を賄う会計、特別会計は特定の資金運用や事業を行っている会計、企業会計は独立採算で運営を行っている会計です。

令和2年度の決算は、新型コロナウイルスの影響を大きく受け、歳入・歳出決算額ともに大幅に増加しました。

歳入決算額が増加した主な原因は「特別定額給付金事業費補助金」や「地方創生臨時交付金」などの国庫支出金が増加したことです。

歳出決算額が増加した主な原因は、「特別定額給付金事業」や「がんばれ子育て応援給付金事業」など、新型コロナ関連によるものと大雨による災害復旧費等によるものです。令和2年度はこれらの大型事業等により、歳出決算額が大幅に増加していますが、国・県の補助金などの財源確保や単独事業費の抑制に努めたことで、黒字決算となりました。

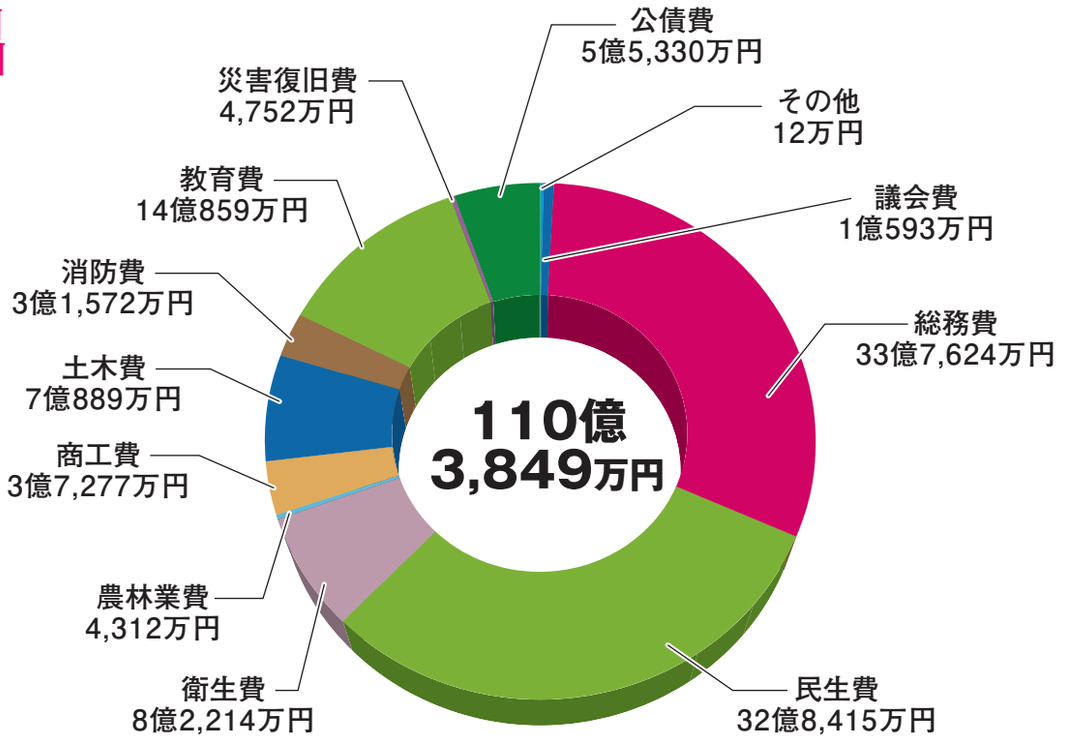
―主な事業の成果―

令和2年度では「未来への投資」を軸に、SDGsの達成と環境対策の推進に取り組みました。

●安心安全なまちづくり

激甚化する防災対策として、雨水溢水（いっすい）地区の対策工事やため池ハザードマップを作成しました。また、子どもたちの安心・安全のためにセーフティ通学路を整備しました。

歳出



特別会計

会計名	歳　入	歳　出	実質収支額
住宅新築資金等貸付事業	2,470万円	2億3,266万円	△2億　796万円 ※翌年度繰上充用金をもって補てんしました。
し尿浄化槽管理	264万円	238万円	26万円
国民健康保険	22億2,738万円	21億7,529万円	5,209万円
介護保険事業	20億8,719万円	20億8,560万円	159万円
後期高齢者医療	3億9,871万円	3億9,855万円	16万円

企業会計

下水道事業会計	収益的収入		収益的支出		差引
	営業収益	2億4,990万円	営業費用	5億2,862万円	
	営業外収益	3億9,860万円	営業外費用	6,505万円	
	特別利益	0円	特別損失	16万円	
	6億4,850万円		5億9,383万円		5,467万円
	資本的収入		資本的支出		差引
	2億9,052万円		4億5,236万円		△1億6,184万円

資本的収入額が資本的支出額に不足する額1億6,184万円は、当年度損益勘定留保資金、当年度未処分利益剰余金で補てんしました。

水道事業会計	収益的収入		収益的支出		差引
	営業収益	4億8,552万円	営業費用	6億4,926万円	
	営業外収益	1億　937万円	営業外費用	1,556万円	
	特別利益	47万円	特別損失	241万円	
	5億9,536万円		6億6,723万円		△7,187万円
	資本的収入		資本的支出		差引
	2億7,841万円		4億1,676万円		△1億3,835万円

資本的収入額が資本的支出額に不足する額1億3,835万円は減債積立金、建設改良積立金、当年度損益勘定留保資金で補てんしました。

●未来ある子どもたちのために

子育て支援を必要とする方に、子育てサポートを提供できるよう、地域で子育てを支え合うファミリーサポートセンターを開所しました。

また、老朽化した西部保育園を新たに、災害時の避難所や自治会館を兼ね備え、地域に開かれた子どもたちを育む場として、令和4年4月の開園に向けて建て替え工事に着手しました。

●健康寿命日本一を目指して

健康な状態と介護状態の中間である「フレイル」。社会福祉協議会と連携し、フレイル健診を実施。予防保健を推進し、各種がん検診受診率のアップを図りました。

●子育てしやすいまちづくりのために

将来にわたって、子どもたちが元気でのびのび学べる場として三郷北小学校の大規模改造を実施しました。

また、障がいの有無にかかわらず読書環境づくりのため、デイジー図書を含めた読書バリアフリー図書を購入しました。

●新型コロナ感染症対策のために

令和2年度は新型コロナによって、大きく影響を受けた年となりました。

その対策のために、地方創生臨時交付金を活用した、町独自の支援策を行いました。（詳細は令和2年7月、10月、令和3年1月、9月号でお知らせしています）

町では、今後も新型コロナ感染対処に全力で取り組みます。